



牧之原市の教育 2026

牧之原市教育委員会では、教育大綱の理念や教育目標の実現のため、また第3次総合計画の分野別計画にも位置付けられる計画として「教育振興基本計画」を策定しています。

この計画に基づき、本市では「こころざしを持ち 夢ある人づくり」を目指して次のとおり取り組んでいます。

牧之原市教育大綱 (令和6年度～令和12年度)

基本理念

こころざしを持ち 夢ある人づくり

目指す人物像
○気づき、考え、行動する人
○人を思いやり、人との対話を大切にする人

教育の目標1 確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します

教育の目標2 豊かさが実現できる教育を推進します

1
キャリア教育を軸にした9年間の学びの実現

2
次代を切り拓く力を育む新しい学校の実現

3
生きがいを持った豊かな暮らしを目指す生涯学習活動の推進

4
図書館機能の充実

5
郷土の歴史・文化の振興

6
スポーツの振興

牧之原市教育振興基本計画(令和5年度～令和8年度)

1 キャリア教育を軸とした9年間の学びの実現

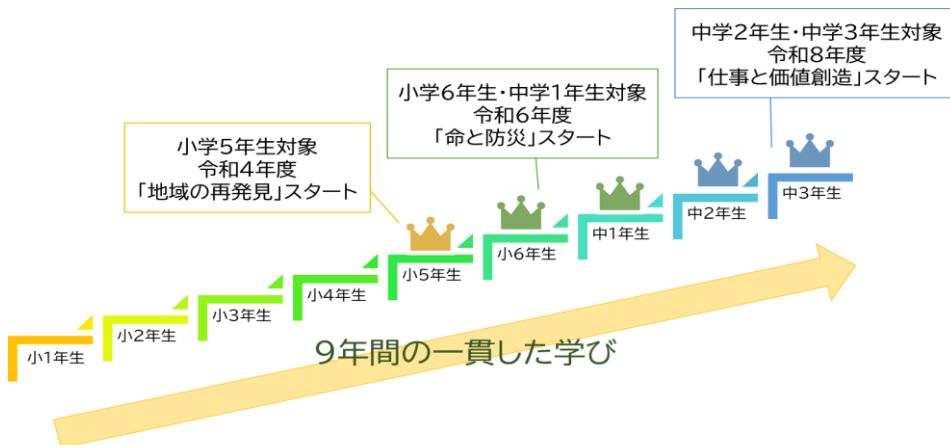
起郷家教育(きごうかきょういく)の推進

(学校教育課)

牧之原市では、義務教育の9年間を通して、「次代を切り拓く力」を育むため、牧之原市版キャリア教育である「起郷家教育」を軸とした小中一貫教育を推進しています。

起郷家教育とは「郷に学び、将来を見通し、自ら行動を起こす」という意味で、すべての教育活動を通して、次代を切り拓くために必要な創造力、コミュニケーション力、課題発見・解決力などの資質・能力を育てることを目指しています。

起郷家教育のプログラムは、静岡大学教職大学院と共同で7年かけて開発した独自のプログラムであり、学校に順次導入してきました。



「川崎小学校 ~「命と防災」プログラム~ 子どもの企画による地域の方と共に取り組む防災訓練の様子」
創り出す力や実行力を発揮できました。

また、令和8年度からは、子どもが学校や地域で学んだことを折にふれて振り返り、自分の成長を自覚する「起郷家パスポート」も実施します。

当プログラムを主に実践している「総合的な学習の時間」を「きごうか」の名称に全校統一し、一体感をもって取り組む気運が高まっています。起郷家教育の詳細は、市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

起郷家教育で多様な学びが展開されるためには、コミュニティ・スクールの仕組みを活用することが必須です。今後も、地域のご理解とご協力を得ながら、地域と共に発展していくことができるよう、取り組んでいきます。



起郷家教育の詳細はこちら

2 次代を切り拓く力を育む新しい学校の実現

新しい学校づくりを進めています

(義務教育学校整備室)

新しい学校づくりとは、子どもたちに「次代を切り拓く力」を育むためのより良い教育環境を実現するため、市立小中学校 10 校を再編し、令和 12 年度に榛原地域に1校、令和 15 年度に相良地域に1校の施設一体型義務教育学校を設置する事業のことです。

榛原地域については、令和7年度に学校施設の基本設計が完了し、令和8年度は、施設の実施設計を行います。

相良地域については、令和7年度に用地取得を行い、令和8年度から令和10年度上半期にかけて、3か所の埋蔵文化財発掘調査を実施します。

令和9年度から、相良地域は造成工事、榛原地域は建設工事に着手できるよう進めていきます。



令和12年度の開校を予定している榛原地域義務教育学校は、令和8年度から開校に向けた準備を始めていきます。

新しい学校の校名、校歌、校章を始め、教育目標、カリキュラム、通学方法やPTA、コミュニティ・スクールなどの各種組織について検討するため、検討組織を設置し、学校、地域、保護者、そして子どもたちと共に検討し、楽しくて通いたいと思える学校を創っていきます。

教育の
目標2

豊かさが実現できる教育を推進します

3 生きがいを持った豊かな暮らしを目指す生涯学習活動の推進

生涯学習事業「まきのほら塾」

(社会教育課)

「まなべるまきのほら」をテーマに、学ぶ喜びと教える喜びの機会を提供する「まきのほら塾」を開催します。令和8年度は、80名の講師による189講座に1,400名を超える受講生が参加予定です。本事業を通じて、学びによる生活の豊かさの実現を目指していきます。



4 図書館機能の充実

子ども読書活動推進計画<第2次>の実施

(社会教育課)

変化の激しい予測困難な時代になり、また図書交流館や文化の森図書館の整備などにより読書環境が大きく変化したことから、新たに第2次計画を策定しました。

本計画では、ありたい姿(将来像)を「夢さがし、豊かな自由読書」としています。読書が子どもの意志で自由に行われ、その読書経験が将来における夢に繋がるよう、関係機関が連携し子ども読書活動を実施していきます。

5 郷土の歴史・文化の振興

田沼意次侯顕彰事業

(社会教育課)

2019年の生誕300年や2025年の大河ドラマ「べらぼう」の放映をきっかけに、地域の活性化や郷土愛の醸成に繋げる取組を行っています。市史料館を発信拠点として、大河ドラマの遺産(レガシー)を継承した新たなコンテンツを制作・提供していきます。

将棋によるまちづくりの推進

(社会教育課)

田沼意次侯が将棋を好んだことや、女流棋士の加藤桃子さんの出身地であることから、将棋によるまちづくりを進めています。タイトル戦や将棋大会、指導対局の実施によって将棋の普及と振興を進め、子どもたちの集中力、忍耐力、そして礼儀作法などの生きる力を育てていきます。



6 スポーツの振興

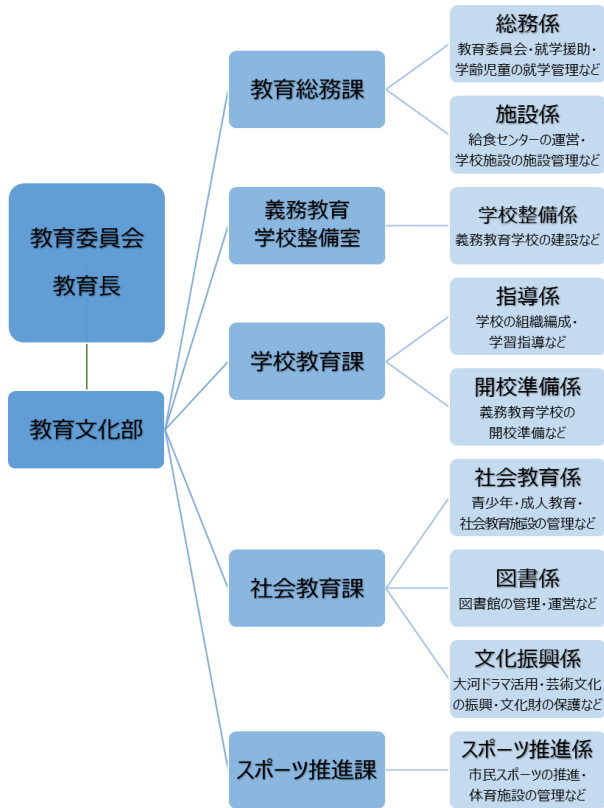
沿岸部でのスポーツイベントの充実

(スポーツ推進課)

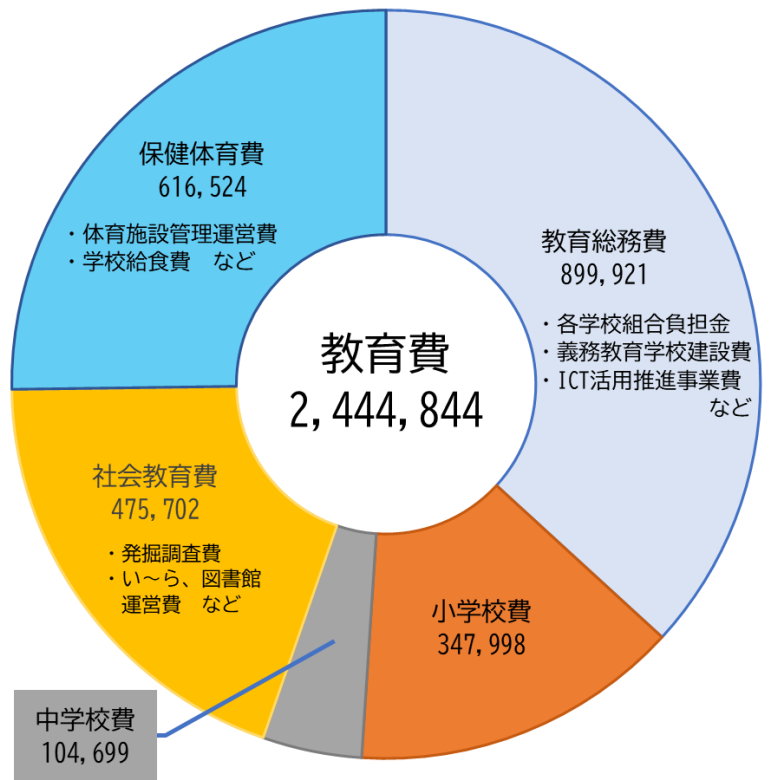
14.7kmに及ぶ海岸線の特性を活かし、静波では『キッズサーフィンスクール』、相良・地頭方では海に入らなくても楽しめる『砂ASO Beach』、御前崎マリナーでは本格的な体験ができる『マリンスポーツフェスタ』などを実施し、家族や友人が手軽に集い、海に対する理解を深める場を提供します。



牧之原市教育委員会組織図 (令和8年4月1日現在)



令和8年度教育費予算(単位:千円)



市内小中学校学級編成状況 (令和8年4月7日現在)

| 学校名 | 児童生徒、クラス数 ()内は特別支援児童生徒及び クラス数で内数 |
|--------------|---|
| 1 相良小学校 | 306(26)人 16(5)クラス |
| 2 菅山小学校 | 99(3)人 7(1)クラス |
| 3 萩間小学校 | 119(6)人 8(2)クラス |
| 4 地頭方小学校 | 142(7)人 8(2)クラス |
| 5 川崎小学校 | 339(19)人 15(3)クラス |
| 6 細江小学校 | 379(20)人 15(3)クラス |
| 7 勝間田小学校 | 94(5)人 8(2)クラス |
| 8 坂部小学校 | 113(8)人 8(2)クラス |
| 9 組合立牧之原小学校 | 160(6)人 8(2)クラス |
| 小学校計 | 1,751人 93クラス |
| 10 相良中学校 | 373(21)人 16(4)クラス |
| 11 榛原中学校 | 499(20)人 19(4)クラス |
| 12 組合立牧之原中学校 | 84(1)人 4(1)クラス |
| 中学校計 | 956人 39クラス |
| 合計 | 2,707人 132クラス |

※組合立学校の児童生徒数については、菊川市民含む

主な教育施設

| 社会教育施設 | |
|--------|-------------------------|
| 1 | 榛原文化センター 文化の森図書館 いり葉 |
| 2 | 相良総合センター い〜ら |
| 3 | 史料館 |
| 4 | 図書交流館いこっと |
| 体育施設 | |
| 5 | 相良総合グラウンド |
| 6 | 榛原総合運動公園 |
| 7 | 静波グラウンド |
| 8 | 静波体育館 |
| 9 | 片浜体育館 |
| 10 | 相良 B & G 海洋センター |
| 11 | GasOneアリーナ牧之原 |

主要な文化財

| 文化財 | | | |
|-----|---------------|----------|--------------|
| 1 | 国宝 | 古文書 | 聖武天皇勅書 (平田寺) |
| 2 | 重要文化財 | 建造物 | 大鐘家住宅 主屋・長屋門 |
| 3 | 重要無形 民俗文化財 | 無形 民俗 | 大江八幡神社の御船行事 |
| 4 | | | 蛭ヶ谷の田遊び |

